

2日開催時の大会レギュレーション案(仮)

本案は、100チームが参加した場合を想定している。

予選リーグ(全100チーム対象)

・予選リーグは、全100チームを対象とした交流型予選ラウンドとして実施する。各チームは、事前に抽選された異なる7チームと対戦する。組み合わせは無作為抽選を基本としつつ、同一チームとの再戦を避け、同一大学同士の対戦、先攻・後攻の偏りおよび地域的な偏りが可能な限り生じないように調整する。各試合は2セット制とし、2セット終了時点で試合を終了する。7試合の成績を基に予選総合順位を決定し、上位64チームが2日目の2次予選に進出する。

【順位決定方式】

・勝利数＞50点取得ゲーム数＞合計得点＞モルックアウト

2次予選(予選リーグ上位64チーム対象)

・予選リーグ上位64チームを対象に、2次予選を実施する。2次予選では、64チームを4チームずつ16グループに振り分け、各グループにおいて総当たり戦を行う。グループ分けは予選順位を基にシード方式を採用し、各グループの競技力が可能な限り均等となるよう編成する。各試合は**2チーム・2セット対戦**とし、各チームはグループ内の他3チームと対戦する。各グループの上位2チーム(計32チーム)がチャンピオンシップトーナメントへ進出する。下位2チームはミドルトーナメントへ進出する。順位は、次の基準を上から順に適用して決定する。

【順位決定方式】

勝利数＞50点取得ゲーム数＞合計得点＞モルックアウト

・チャンピオンシップトーナメント(2次予選上位32チーム対象)

・2次予選各グループの1位及び2位チーム(計32チーム)を対象に、チャンピオンシップトーナメントを実施する。チャンピオンシップトーナメントはシングルエリミネーション方式とし、優勝チームを学生日本一とする。組み合わせは、2次予選の順位を基に決定する。なお、同一グループを勝ち上がったチーム同士は、決勝戦以前に対戦しないよう配置することを原則とする。各試合は2チームによる対戦とし、競技方式は次のとおりとする。

- 1回戦(32チーム→16チーム):2セット先取
- 2回戦(16チーム→8チーム):2セット先取
- 準々決勝(8チーム→4チーム):2セット先取

- 準決勝(4チーム→2チーム):2セット先取
- 3位決定戦:3セット先取
- 決勝:3セット先取

なお、決勝戦は本大会の最終試合として実施することを原則とする。準決勝終了後は、決勝進出チームの休息时间及び決勝戦の準備時間を確保するため、3位決定戦を先行して実施する。また、決勝戦開始時には、原則として本大会のすべての競技を終了し、参加者全員が決勝戦を観戦できる環境を整えるものとする。

なお、12月の屋外開催であることを踏まえ、日没時刻を考慮した進行とする。決勝戦が日没により競技継続困難となる場合に備え、照明設備の確保、または進行の前倒しについて、会場条件を踏まえて事前に整理する。

ミドルトーナメント(2次予選下位32チーム対象)

・2次予選各グループの3位及び4位チーム(計32チーム)を対象に、ミドルトーナメントを実施する。各グループ4位の16チームはプレーオフを行い、勝利した8チームがミドルトーナメント本戦へ進出する。各グループ3位の16チームはプレーオフを免除し、本戦1回戦から出場する。

・本戦は、各グループ3位の16チームとプレーオフを勝ち上がった8チームの計24チームで実施する。プレーオフから準決勝までは、2チームによる2セット先取方式とし、決勝は3チームによる2セット先取方式で実施する。

【競技方式】

- プレーオフ(4位16チーム→8チーム):2チーム・2セット先取
- 1回戦(24チーム→12チーム):2チーム・2セット先取
- 準々決勝(12チーム→6チーム):2チーム・2セット先取
- 準決勝(6チーム→3チーム):2チーム・2セット先取
- 決勝(3チーム対戦):3チーム・2セット先取

・組み合わせは2次予選の結果を基に決定し、同一グループで対戦したチーム同士が早い段階で再戦しないよう配慮する。なお、ミドルトーナメントはチャンピオンシップトーナメントの進行に支障がないよう実施し、原則としてチャンピオンシップトーナメント決勝戦開始までに終了するものとする。

フレンドシップトーナメント(予選リーグ下位36チーム対象)

・フレンドシップトーナメントは、予選リーグの順位が65位以下の36チームを対象に実施する。本トーナメントは順位決定を主目的とせず、全国の学生同士が多くの試合を通じて交流を深めることを目的とする。前半は、交流ラウンドとして、4チーム100点ゲーム、3チーム100点ゲーム及び2チーム対戦(2セット先取)を実施する。各試合では組み合わせを変更し、可能な限り多くの大学・地域のチームと対戦できるよう配慮する。後半は、団体対抗戦(勝ち抜き方式)を実施する。競技方法の詳細は「団体対抗戦規定」に定める。

団体対抗戦規定

・団体対抗戦は、4対4を基本とした勝ち抜き方式により実施する。各チームは試合開始前に出場順(先鋒、次鋒、副将、大将)を決定し、相手チームへ共有する。提出後のオーダー変更は認めない。各対戦は1セット先取(50点ゲーム)とし、先鋒戦から開始する。勝者はコートに残り、敗者は次の順番の選手と交代する。以降も同様に試合を継続し、相手チームの大将を先に退けたチームを勝利とする。先攻・後攻は、第1試合はじゃんけんにより決定し、第2試合以降は直前の対戦で敗れたチームが選択する。チーム編成は4名を基本とする。ただし、3名で参加するチームは、1名が2つのポジションを兼任できるものとする。この場合、同一選手が連続して出場することは認めず、兼任するポジションの間には必ず別の選手を配置しなければならない。(例:A選手・B選手・C選手の3名の場合、「A→B→A→C」または「A→B→C→B」のような順とする。)本規定に定めのない事項については、大会レギュレーション及びモルック公式ルールを適用する。

【時間制限】各対戦には制限時間を設ける。制限時間内に決着しない場合、その時点で勝利数の多いチームを勝者とする。勝利数が同数の場合は、その時点でコートに残っている選手のチームを勝者とする。

トーナメント敗退後の交流戦

・チャンピオンシップトーナメント及びミドルトーナメントでは、参加チームの競技機会を確保するため、各トーナメントから敗退したチームを対象とした交流戦を実施する。交流戦では、各チームが2日目に最低5試合(2次予選、各トーナメントを含む)を行えるように組み合わせを決定する予定である。交流戦の組み合わせは、原則として同じ段階で敗退したチーム同士とし、予選リーグ及び2次予選で対戦していないチームとの対戦を優先する。交流戦は、2チーム・2セット対戦により実施し、上位トーナメントの3位決定戦開始までに終了する。

・タイムスケジュール(仮)

1日目(全チーム共通)

予選リーグ(各チーム7試合実施)

時間	内容	時間	内容
12:00～12:30	第1試合	14:35～15:05	第5試合
12:30～12:35	移動	15:05～15:10	移動
12:35～13:05	第2試合	15:10～15:40	第6試合
13:05～13:10	移動	15:40～15:45	移動
13:10～13:40	第3試合	15:45～16:15	第7試合
13:40～13:45	移動	16:15	1日目終了
13:45～14:15	第4試合		
14:15～14:35	休憩		

2日目

1.2次予選(予選リーグ上位64チーム対象)

時間	内容
9:00～9:30	第1試合
9:35～10:05	第2試合
10:10～10:40	第3試合
10:40～11:00	集計・チャンピオンシップ/ミドルトーナメント組み合わせ発表

2-1.チャンピオンシップトーナメント(2次予選上位32チーム)

時間	内容
11:00～11:40	1回戦
11:45～12:25	2回戦
12:30～13:10	準々決勝
13:15～13:55	準決勝

14:00～15:00	3位決定戦
15:00～	決勝戦(時間制限なし)

2-2.ミドルトーナメント(2次予選下位32チーム)

時間	内容
11:00～11:40	プレーオフ(2次予選4位16チーム→8チーム)
11:45～12:25	1回戦(プレーオフ勝利8チーム+2次予選3位16チーム =24チーム→12チーム)
12:30～13:10	準々決勝(12チーム→6チーム)
13:15～13:55	準決勝(6チーム→3チーム)
14:00～14:50	決勝(3チーム対戦)(3チーム・2セット先取)

3.フレンドシップトーナメント(予選リーグ下位36チーム対象)

時間	内容
9:00～10:00	4チーム100点ゲーム
10:05～10:45	3チーム100点ゲーム
10:50～11:30	2チーム対戦(2セット先取)
11:30～12:15	昼休憩
12:15～13:30	団体対抗戦1戦目
13:40～14:55	団体対抗戦2戦目